

B型肝炎

1 接種の対象者、接種回数及び接種方法

区分	対象年齢	接種間隔	接種回数
1回目	福山市に住民票がある生後12か月(1歳)に至るまでの間にある者 (標準的な接種時期は生後2か月～9か月に至るまで)	—	1回
2回目		1回目接種終了後、 27日以上	1回
3回目		1回目接種終了後、 139日以上	1回

※ B型肝炎に関しては、複数銘柄のワクチン（遺伝子型の異なるワクチン）を組み合わせ
接種を進めた場合についても、定期の予防接種となります。組み合わせ接種の有効性につい
ては、確認されています。

※ HBs抗原陽性の者の胎内又は産道においてB型肝炎ウイルスに感染したおそれのある者であ
って、抗HBs人免疫グロブリンの投与に併せてB型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある者に
ついては、定期接種の対象者ではありません。

※ 「長期療養が必要な疾病などで定期の予防接種の機会を逸した者に対する特例」については、
『定期接種実施マニュアル』を参照してください。(ただし、2016年(平成28年)4月1日以降に生
まれた者に限ります。)

2 接種方法

接種1回につき0.25mlを皮下接種

【基本的な接種パターン】

生後1歳に至るまでの間に3回接種

